

川口町と合併した場合の長岡市財政への影響

1 長岡市と川口町の予算額を合算した場合の試算

- 長岡市と川口町の予算額を合算した場合、川口町の占める割合は2.2%に相当。川口町の予算規模は長岡市のおおむね1/50程度。

21年度一般会計当初予算

(単位：千円、%)

	長岡市	川口町	合算後	川口町の 占める割合
歳入歳出合計	144,232,000	3,186,000	147,418,000	2.2%

2 長岡市と川口町の決算額を合算した場合の財政指標

- 19年度決算を合算した場合の実質公債費比率は0.1%の増。

19年度決算

区 分	長岡市	川口町	合算後	増減率
経常収支比率 ※1	90.8%	89.1%	90.7%	▲0.1%
健全化判断比率				
実質赤字比率	—	—	—	—
連結実質赤字比率	—	—	—	—
実質公債費比率 ※2	14.8%	18.6%	14.9%	0.1%
将来負担比率 ※3	132.4%	168.9%	133.5%	1.1%

- ※1 経常的な収入（地方税、交付税等）に対する経常的経費（人件費、公債費等）の割合。比率が低いほど財政の弾力性が高い。
- ※2 税金や交付税など標準的な収入に対する実質的な借金返済の割合。25%以上が早期健全化基準。
- ※3 標準財政規模に対する将来負担すべき実質的な負債の割合。350%以上が早期健全化基準。

3 市民一人当たりの借入額

次頁の表参照

- 長岡市民一人当たりの地方債の借入額は、517千円から合併後には530千円となり、13千円（2.5%）の増加となる。
- なお、国の普通交付税による補てん額を考慮すると、市民一人当たりの借入額（正味の借入額）の増加は、3千円（1.2%）となる。

21 年度末地方債残高見込みによる試算

(単位：千円)

	1人当たりの 借入額	国の補てん額 (交付税措置額)	1人当たりの 正味の借入額
長岡市 A	517	266	251
川口町 B	1,242	865	377
合計(合併後) C	530	276	254
市民1人当たり 借入額の増加 (C-A)	13	10	3

4 川口町のインフラ整備等の状況

- ・下水道普及率 98.1%など、インフラ整備は相当程度実施済み。
- ・小中学校の統廃合を実施済み。
- ・当面大きな投資の予定はないと見込まれる。

区分	整備状況	事業名	事業費	年度
道路	改良率 74.1% 舗装率 62.6%	牛ヶ島農免道路町負担金	0.6 億円	22
河川	—	—	—	—
下水道・ 浄化槽	普及率 98.1%	・西倉污水幹線整備事業	0.6 億円	22
水道	簡易水道 普及率 99.6%	・和南津配水池整備事業	1.0 億円	22 以降
教育	未耐震化施設 0% (21 年度末)	・小学校：S60 築 ・中学校：S51 築 ・21 年度末で学校耐震化工事完了 H21：34,000 千円	—	—
ごみ・ し尿	ごみ：H2 年建設 し尿：S51 年建設	小千谷広域事務組合 ・平成 21 年度に今後の施設の維持 に必要な改修箇所の調査を実施	—	—
斎場	H6 建設	・新たな整備の必要なし	—	—